

Q & A 一般質問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

山本均議員



村長の四期にわたる村政への評価と残された課題は？

問 出川村政の過去15年間の自己評価と今後の課題をお訊きする。

答 自己評価は百点と
言いたいところだが、三十点位か。今後は定住化の促進、これにもなう雇用の創出、産業の振興が大きな問題になると思っている。

後継者の育成はどうなっているか？

問 出川村長の衣鉢を継ぐ後継者を育てることが大事だが、この点を村長はどのように考えているか、所見を伺う。

答 この時期に後継者の育成云々は控えたいが、あえて申し上げれば後継者は公平で強い愛郷心を有し、健康な人の中から住民に選択していただくことがベストだと思っている。

式根島の高齢者介護施設はどのようなものになるのか？

問 前回（12月定例会）の回答はあいまい模糊で要領を得ていない。デイ・サービスだけとお泊りを含めたサービスシステム



にするところがどう違って大変なことになるのか、どの程度であれば受入れ可能なのか、数字等を交えてわかりやすく説明願いたい。

答 現在のところ施設整備及び人員の確保、

運営面等から、また利用者負担等も考慮して入所施設として整備することは困難だと考える。が、その可能性を全く排除するものではなく、しっかりと検討していく必要があるのもうしばらく時間をいただきたい。

岐路に立つ島しょ観光に新たなステージの可能性は開けるのか？

問

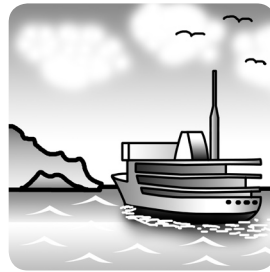
島しょ観光について新たに各島間に連携体制の構築を図る趣旨で新年度では東京諸島観光連携推進協議会（仮称）が立上がることになっている。この動きに対して村はこれをどのように評価し観光行政を進めて行くこうとしているのか、具体的にお願いします。

答

以前にも同様の事業等を展開してきたが、今事業は3年間継続実施したのちその翌年に事業効果を検証し、存廃を検討する。

現在、旅行者の多くはサイトを利用し旅行先を選び宿まで予約するのが通常の形態である。この

ため東京アイランドドットコムへの認知度及び利便性の向上、大手宿泊予約サイトを活用した誘客PRを展開し、観光ポータルサイトの再整備を行い、集客につながることを期待している。



生活保護を必要とする困窮家庭はないのか？

問

ここ10年間の生活保護世帯の状況はどのような変遷を辿っているのか？新たに受給者となった方はどのくらいいるのか？今現在、生活困窮者の実態把握はどのように行なっているのか？

答

生活保護受給世帯の状況は平成14年度、16世帯19名から徐々に増え、平成20年度の19世帯26名をピークに今年度は14世帯15名と減少している。平成24年度に新たに認定された受給者は3世帯3名となっている。生活保護認定は生活困窮者の申請に基づき、都担当職員、村担当職員が調査、面接等を行なう。生活困窮者の実態把握は村民からの情報提供、村への生活相談、民生児童委員からの情報提供ならびに各関係機関との定期的な情報交換を行ない漏れのないよう把握に努めている。



戸田邦市議員



新離島振興法について

問

離島振興法の10年間延長に伴い、村としては今後どのように振興計画を活用していく予定か。

答

新年度から施行される離島活性化交付金を最大限活用し、新東京都離島振興計画の基本施策及び新島村後期基本計画に沿った形で、新島村の振興を図っていききたい。3月29日に、国の離島振興基本方針が公示され、その後、東

京都が離島振興計画を国に提出します。

式根島福祉施設について

問

式根島住民の喫緊の要望である高齢者福祉施設の体制充実をどのように進めていくのか。

答

新島はまゆう会や社会福祉協議会等関係団体と連携しつつ、住民の意見や要望もお聞きしながら、諸問題を解決して、一年でも早く実現することが必要だと考えています。



青沼進二議員



国民健康保険税について

問 村長の施政方針では今後、適正な国保税率に改めることを検討していくとあるが、適正な額を知りたい。

新島村は国民年金の方が多く、今回値上げを実施すれば国保料を払えなくなる方が多くなると思う。据え置きが妥当と考えるが、村長に伺う。

答 新島村においては法定負担額に基づくとシ

ミュレーションを行った結果、大卒の概算では現在の3.6%から13.5%となり、大幅な値上げが予想される。このまま住民に負担をお願いできないが、ある程度は上げること考える時期に来ている。

来年度は税率改正は行なう予定はないが、今後、検討していく。



式根島介護施設について

問 式根島介護施設は施政方針の中では総合基本計画に沿ってとあり、

それでは平成29年度になっ
てしまう。もう少し早く具
体的なことを聞きたい。村
長の考えを伺う。

答 整備年度は明言でき
ないが、より早く時
期や具体的な内容が示せる
よう関係機関との協議や促
進委員会との話し合いを進
めていきたい。

議会の傍聴

住民のみなさんの
目、耳、声が議会を
育てます。ぜひ傍聴
にお越し下さい。

当日の受付で手続
きは簡単です。



高校生までの医療費無料
化について

問 高校生を持つ親と生徒
が安心して学校生活が
送れるよう高校生までの医
療費無料化について伺う。

答 村では現在のところ
高校生までの医療費
無料は考えてない。
中学生までの医療費の無
料化は実施しているが、高
校生までとなると住民票を
移し都内の学校に通う生徒
との公平性が保てない。



清水欣吾議員

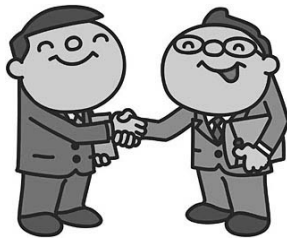


施政方針より組織・職員の育成について

民間の研修機関から講師を招き、クリエートセンターで実施した。対象者は在職3年以下で35歳以下の職員15名。その成果は研修後は仕事に対する考え方や姿勢に変化が見えた。内部研修の講師は全管理職ではなく業務に精通した経験者を考えている。能力による昇格人事は目標達成度によってある。

問 施政方針では民間のマナーアップ研修を行ったとあるが、何処で？何人が参加して？その成果は？また今年度から内部研修を管理職が講師となりとあるが、全ての管理職が行うのか？他に能力による昇格人事を行う考えがあるのか？

答 マナーアップ研修は昨年12月17日、



観光・商工振興について

問 閑散期のイベントとは何か？観光振興に

は観光メニューを村として作り上げることが肝要と考

える。そこで観光に精通する人材を投入して見直す考えはないのか、村長の所見を伺う。

答 閑散期のイベントとはこの時期に誘客を図ることだと考える。具体的にはケーブルテレビでの新島・式根島のCMで一昨年から行なって今年も3月の1ヶ月間関東一円で放映される。観光メニューづくりは大事でガラス体験教室と砂風呂の活用を検討している。観光専門職員の件は両観光協会の方が経験豊富であり、お互いに情報を共有し誘客のメニューづくり等展開できればと考える。

健康で明るい暮らしのできる村を目指して

問 村長の「日本一健康な島づくり」は長寿



答 整備年度は現在のところ明言できない

となつて成果が現れ快適な島として評価する。次の対策として介護福祉施設の充実を図ることが急務と思う。特に式根島の整備を望むところである。一年でも早く実行して頂きたい。所見を伺う。

が、村の財政計画等の兼ね合いもあり29年度に基本計画策定を予定している。一年でも早く準備を進め、その実現に努力していく。

森田 一議員



若郷地域の温泉施設整備について

問

若郷地域の温泉施設設置要望運動は、平成6年12月定例議会に若郷地域の成人住民の8割を超える署名を添えて、当時の戸田松次郎議会議長に請願書を提出したのが始まりです。

以来、平成12年の新島大震災の直後を除き、若郷地域からの温泉施設整備の要望の声が消えることはなく、近年その声はさらに大きくなっており、特に出川村長4期目の残任期間が少

なくなるにつれ、我々若郷の3人の議員への風当たりが日々強くなってきていることも事実です。

なぜなら、我々3人を含む多くの若郷住民は、若郷地区への温泉施設整備は出川村長の選挙公約ととらえているからです。事実過去3回の村長選挙ではこの一点で若郷住民の多くが出川村長の支持でまとまっていたことは村長ご自身よくわかっていただこうと思います。

村長は平成8年に村長に就任されたその年に、五千万の予算を投下し試掘を実施され、その後も2回にわたり数百万の予算を投下して泉源調査もされており、村長の若郷の温泉施設整備にかける前向きな気持ち、私は疑うことはありませんでした。

しかし四期目の任期も10ヶ月を切った今定例会にも何の予算処置もありません。

先日の間々下温泉井戸のトラブルを踏まえ、今後の間々下温泉の安定的な湯量の確保と「若郷には井戸は掘らず間々下から運ぶことどうか」との村長からの提案を地域として了解しているわけですが、これからのようにして実施されようとしておられるのか、又想定されている大津波の非難施設との併設は考えられないのか伺う。



答

地域の皆さんの強い要望と期待については十二分に理解しているつもりです。その要望に答えるべく今までに3回の泉源調査と1回の試掘を行ってきましたが、どの調査においても可能性は低いと報告されており、残念ながら若郷地区に温泉井戸を掘るこ

とは現実的に難しいと判断しております。他の方法として若郷地区に入浴施設のみ整備し、間々下から温泉を運ぶということが一つの案としてありますが、施設整備経費、運搬車購入経費、燃料代、作業員人件費等、多額の経費が見込まれ、先日発生した間々下温泉井戸のトラブルにより周囲の温泉施設が20日以上休業したことを考えますと、同地区にもう一本掘る必要性があります。

正直なところ「何とかできないだろうか」と熟慮しましたが、南海トラフ対策等防災関連、式根島地区介護施設の整備等が急浮上し、それらとの優先順位を考えますと、直ちに実施することとは難しい現状をご理解いただきたいと思います。いずれにしてもやりかけのプロジェクトですので、諸般の動向を見ながらもう少し時間をかけて対処することが適切と考えますのでご理解ください。

また避難施設との併設はこのことですが、避難施設自体目的が違いため併設については考えておりませんので、ご理解願います。



◆◆◆ 次回の予告 ◆◆◆
次回の議会広報は10月上旬、発行の予定です。
6月の定例会では青沼進二、宇山誠二及び山本均の各議員が一般質問をしていますので、これらの質問と回答を掲載します。